

事業の目的・目標

CO₂濃度が10%以下の工場排ガス等から2,000円台/ton-CO₂で分離回収する膜分離システムの開発

2025年度の主な成果

① 分離膜

✓世界最高レベルの透過速度、選択性 (CO₂/N₂)
✓劣化メカニズムの解明・対策

② 製膜

✓連続塗工機による広幅・長尺品への歩留まり影響条件を明確化

③ エlement

✓商業サイズのプレート&フレーム型Element仕様決定
✓Element量産機の設計、発注完了

④ 分離膜プロセス

✓川崎市ごみ焼却処理施設内で実証開始 (2026年3月～)

膜分離法によるCO₂回収の実証試験に着手
～国内初、ごみ焼却処理施設にCO₂分離膜を導入へ～

2025年08月19日

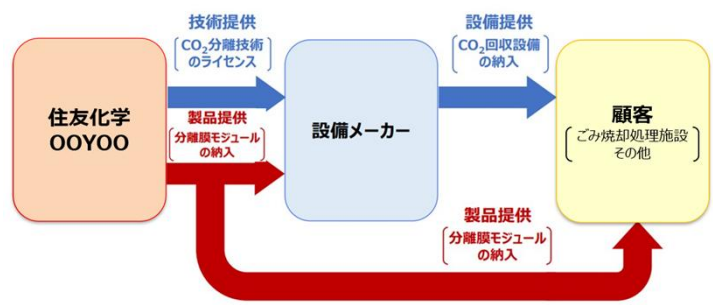
住友化学 **JFE エンジニアリング 株式会社**

住友化学株式会社
JFEエンジニアリング株式会社

住友化学株式会社 (以下「住友化学」) と JFE エンジニアリング株式会社 (以下「JFE エンジニアリング」) は、このたび、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (以下「NEDO」) から委託している「グリーンイノベーション基金事業／CO₂の分離回収等技術開発」(以下「本プロジェクト」) において、独自の膜技術を用いたCO₂分離回収の実証試験を共同で行うことになりました。実証試験は、川崎市環境局が管理・運営するごみ焼却処理施設である川崎市浮島処理センターで、2026年3月から開始します。ごみ焼却処理施設の排ガスから膜分離法を用いてCO₂を回収する試みは、国内初となりま

課題と今後の取組、実用化・事業化の見通し

想定事業モデル



計画

